

〔I〕公益目的事業

(公1) 青少年交流・教育交流事業： 総合交流部

平成 28 年度の青少年交流は、日本政府の平成 27 年度補正予算により実施する日中植林・植樹国際連帯事業に加え、平成 25 年から実施している JENESYS2.0 を継続実施します。JENESYS2.0 の継続実施については、3 月 29 日、外務省にて決定されました。

本事業を通じ、日本経済の再生に向けて、日本に対する潜在的な関心を増大させ、訪日外国人の増加を図るとともに日本の強みや魅力等の日本ブランド、日本的な価値への国際理解を増進させることを目的としています。

会館は中国との間で JENESYS2.0 を実施するため日本国政府から約 40 億円の拠出を受け、8,660 人規模の招聘事業と 2,600 人規模の派遣事業を平成 25 年から 2 年以内に実施することを目指しました。しかしながら、平成 25 年度の招聘人数は約 800 名、平成 26 年度の招聘人数は約 1,700 名でした。このため、平成 27 年度も JENESYS2.0 の事業予算の残余分を使用して交流事業を継続実施しました。平成 27 年度は教育部派遣による高校生訪日団の大幅な回復等により、招聘人数は約 3,500 名に達しました。ただし、依然、派遣事業は実施されない状況となっています。

平成 28 年度についても、引き続き JENESYS2.0 の事業予算の残余分約 12 億円を使用し、年間 2,900 名規模の招聘事業実施を目指します。

【招聘事業】

	案件	中国側実施機関	人数
1	中国高校生短期招聘	教育部	1,010
2	香港・澳門高校生短期招聘	香港・澳門教育局	100
3	中国大学生短期招聘	中日友好協会	500
4	中国大学生短期招聘	中華全国青年連合会	200
5	中国青年短期招聘	中日友好協会	150
6	中国青年短期招聘	中華全国青年連合会	200
7	第二十一回中国教育関係者代表団	中日友好協会	60
8	中国青年メディア関係者代表団	國務院新聞弁公室	250
9	中国社会科学院青年研究者代表団	中国社会科学院	100
10	日中次世代幹部交流訪日団	国家外国專家局	60
11	大使館推進事業等		300
		計	2,930

1、中国高校生短期招聘事業（教育部、香港・澳門教育局）

（前表No.1、2）

教育部派遣の中国高校生 1,010 名を 5 回に分けて招聘します。

香港・澳門高校生 100 名を招聘します。

いずれも滞在期間は 8 泊 9 日で招聘します。

滞在期間中に日本の高校生との交流や世界遺産や歴史的建造物、最先端技術の展示施設等クールジャパンを体感できる場所、施設や日本の大学への訪問を積極的にプログラムに組み込みます。

中国側担当機関：中国教育部、香港特別行政区政府教育局、
澳門特別行政区政府教育・青年局

受入実施：日中友好会館、一部他団体に委託予定。
委託団体は企画競争にて決定します。

2、中国大学生短期招聘事業（中日友好協会、中華全国青年連合会）

（前表No.3、4）

中日友好協会を派遣元とする中国大学生 500 名を 5 回に分けて招聘します。

中華全国青年連合会を派遣元とする中国大学生 200 名を 2 回に分けて招聘します。

滞在期間は 7 泊 8 日。日本の大学生との交流による相互理解の促進とともに世界遺産や歴史的建造物、最先端技術の展示施設等クールジャパンを体感できる場所、施設への訪問を積極的にプログラムに組み込みます。

中国側担当機関：中日友好協会、中華全国青年連合会、
受入機関：日中友好会館

3、中国青年短期招聘事業(中華全国青年連合会、中日友好協会)

（前表No.5、6）

中日友好協会を派遣元とする中国青年 150 名を招聘します。

中華全国青年連合会を派遣元とする中国青年 200 名を 2 回に分けて招聘します。

滞在期間は 7 泊 8 日（一部は 4 泊 5 日）。招聘時期、テーマ等は調整中です。

テーマに沿った交流・視察のほか、世界遺産や歴史的建造物、最先端技術の展示施設等クールジャパンを体感できる場所・施設、企業視察、地方自治体への訪問をプログラムに組み込みます。

中国側担当機関：中華全国青年連合会、中日友好協会
受入機関：日中友好会館

4、第二十一回中国教育関係者代表団(中日友好協会)

(前表No.7)

中日友好協会を派遣元とする中国教育関係者代表団 60 名を招聘します。

中日友好協会と会館との間で長年続く事業です。

滞在期間は 4 泊 5 日。招聘時期は調整中です。日本の教育現場の視察及び教育関係者（小学校から高校、教育委員会等）との交流を予定。また、世界遺産や歴史的建造物、最先端技術の展示施設等クールジャパンを体感できる場所・施設への訪問をプログラムに組み込みます。

中国側担当機関：中日友好協会
受入機関：日中友好会館

5、中国青年メディア関係者代表団（中国国務院新聞弁公室）

(前表No.8)

中央、地方の若手メディア関係者、メディア行政担当者 250 名を 3 回に分けて招聘します。滞在期間は 7 泊 8 日を予定。招聘時期・テーマは調整中です。

日本のメディアとの交流のほか、世界遺産や歴史的建造物、最先端技術の展示施設等クールジャパンを体感できる場所・施設、企業視察、地方自治体への訪問をプログラムに組み込みます。

中国側担当機関：中国国務院新聞弁公室
受入実施：日中友好会館

6、中国社会科学院青年研究者代表団（中国社会科学院）

(前表No.9)

中国社会科学院に所属する若手研究者 100 名を 2 回に分けて招聘します。

滞在期間は 7 泊 8 日を予定。招聘時期・テーマは調整中です。

テーマに沿った交流・視察のほか、世界遺産や歴史的建造物、最先端技術の展示施設等クールジャパンを体感できる場所・施設、企業視察、地方自治体への訪問をプログラムに組み込みます。

中国側担当機関：中国社会科学院
受入実施：日中友好会館

7、日中次世代幹部交流訪日団（国家外国専門家局）

（前表No.10）

次代の日中関係を担う中国の中央・地方行政機関及び企業の中堅幹部 60 名を招聘します。

滞在期間は 7 泊 8 日を予定。招聘時期・テーマは調整中です。世界遺産や歴史的建造物、最先端技術の展示施設等クールジャパンを体感できる場所・施設、企業視察、地方自治体への訪問をプログラムに組み込みます。

中国側担当機関：中国国家外国専門家局

受入実施：日中友好会館

8、大使館推進事業等

（前表No.11）

在中国日本国大使館等が企画する事業。300 名を 10 回に分けて招聘します。

滞在期間は 4 泊 5 日～7 泊 8 日を予定。対象分野・内容等は調整中です。

中国側担当機関：調整中

受入実施：日中友好会館